

風の子通信



2019 年度版 10 月号

第 2 回「たすけてパスポートプロジェクト」会議 開催

令和 1 年 9 月 25 日(水)に水戸市庁舎 4 階中会議室にて、第 2 回「たすけてパスポートプロジェクト」会議を開催しました。「たすけてパスポートプロジェクト」は、障害者を含む要配慮者向け防災システムの構築を目指した事業です。水戸市わくわくプロジェクトの協働事業として承認され、令和 1 年 4 月 28 日(日)に水戸市防災・危機管理課・障害福祉課と連携し避難訓練を行いました。今回のプロジェクト会議では、この避難訓練の振り返りと有賀絵理先生から「水戸市モデル」というネーミングに込められた意義をお話しいただきました。障害福祉課からは、ヘルプマーク・ヘルプカードの普及状況の報告がありました。避難訓練後、ヘルプカードの広報活動に力を入れたことにより、少しずつ広がってきているとのこと。防災・危機管理課からは、令和 1 年 10 月 26 日(土)に予定している避難訓練の実施要項が発表されました。今回は、障害福祉事業所の皆様に加え、特別支援学校からも多数のご参加をいただきました。ご参加くださった方々から、今まで風の子が行ってきた避難訓練に参加してきた感想・要望や震災時に必要とされたことなどの情報提供をいただきました。今後も皆様のご協力をいただきながら、事業を進めていきたいと思っております。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

令和 1 年 10 月 26 日(土)要配慮者(障害者)向け避難訓練の実施を計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。

当日の様子



- 18:00 開会
資料確認及び本日の趣旨説明
- 18:10 4/28 の避難訓練について報告 (風の子)
- 18:20 「水戸モデル」の意義と今後の広がりについての講話(有賀先生)
- 18:30 ヘルプマーク・ヘルプカードの普及状況
(障害福祉課)
- 18:40 10/26 避難訓練の実施要項
(防災・危機管理課)
- 18:45 参加者による意見交換会
- 19:15 閉会

意見交換会から

参加者 28 名の皆様から様々なご意見・ご感想をいただきました。抜粋して報告させていただきます。

- ・何回も参加したことで、非常食を食べることができるようになった。
- ・身体障害者にはトイレだけでは使用できないことが多い。トイレにはおむつ交換用のベッドを用意してほしい。
- ・障害者が自分から助けを求めることはハードルが高い。声を出さなくても相手に視覚的に訴えることができるグッズは有効であると思う。
- ・本人が助けを求める力が必要であることを再認識した
- ・事業所利用者は広範囲に在住している。水戸市在住者でなくとも、水戸市で被災した時には 助けてもらえると感じ、安心した。
- ・今日の内容を事業所内で共有し、利用者のご家族にもお知らせしたいと思った。
- ・とても良い取り組みなので、事業所支援員の研修としても有効ではないかと思う。もっとたくさんの人に知らせてほしい。